

シラバス

<37 期生>

八戸看護専門学校 看護学科

科目コードNo.1

[illegible]

科目コードNo.2

	授業科目	履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 教育学・スタディスキル		1年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師
学習目標	1. 学習・教育を人間の発達との関係性で理解する。 2. 学習・教育理論の基礎を理解する。 3. 専門職における生涯学習の意義と患者教育の基礎的知識を理解する。 4. 主体的学習者としての姿勢を身に付ける。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 教育学 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 教育による発達の理論 発達段階の考え方、教育による発達から創造 2. 学習理論 学ぶ存在としての人間、学習とは何か 3. 教授 人を教えるということ 学ぶ・教えるということ、学びとコミュニケーション 4. 看護学生としての学び方 発見的学习、経験の考え方、自己効力理論、セルフマネジメント 5. 成人教育学 自己主導型学習、経験型実習教育 6. スタディスキル 1 読む力、記述力、聴く力 7. スタディスキル 2 発言する力、人間関係力 8. プレゼンテーション「看護学生の主体的な学びとは」(演習) 9. 教育評価 教育目標と評価 10. 教育評価の活用 基準、自己評価・他者評価 11. 専門職における学習・教育 看護職における専門性、専門職としての生涯学習・継続教育 12. 看護の場における教育 基礎教育と継続教育、患者・家族教育 13. リフレクションの意義 14. リフレクションの活用「リフレクション」(GW 演習) 15. 課題・レポート「看護学生の主体的な学びとは」			講義
				演習
評価方法	筆記試験 他			
学生へのメッセージ	<共通> テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.3

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 情報処理		1年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師 (情報処理技術者)
学習目標	1. 情報化社会に対応できる能力を養うため、情報処理の基本を身に付ける。 2. 研究発表や説明会のためのプレゼンテーションソフトとして PowerPoint、インターネットを用いた情報検索などの方法を習得する。			
テキスト・参考文献	1. 情報リテラシー windows10/office2019 FOM 出版			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. パソコンの基本構成とソフトウェア 2. 日本語入力 3. 文書処理1 Word の画面構成と基本操作、文字入力と編集など 4. 文書処理2 クリップアートや画像の貼り付け、図形描画など 5. 表計算1 画面構成と基本操作、簡単な関数の使い方、表の編集など 6. 表計算2 相対参照と絶対参照、関数の使い方など 7. 表計算3 Excel データベース、各種グラフなど 8. PowerPoint1 画面構成と基本操作、PowerPoint の基礎知識 9. PowerPoint2 スライドの編集、クリップアートや画像の利用 10. PowerPoint3 表やグラフの利用 11. 紹介プレゼンの作成と発表1 12. 紹介プレゼンの作成と発表2 13. 資料の収集 文献検索、引用、著作権 14. 情報の取り扱い メールのマナー、個人情報と法的根拠			講義 演習
評価方法	課題レポート 100%			
学生へのメッセージ	<共通>テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。 毎回、USB メモリー、教科書、配布物を持参すること。			

科目コードNo.4

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 医療情報学		2 年次・前期	1単位 15H(7 コマ)	外部講師
学習目標	1. 医療における ICT 現状と今後について理解する。 2. 医療情報システムにおける情報リテラシーの基礎を理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 <参考文献> 1. エッセンシャル看護情報学 医歯薬出版株式会社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 医療情報学を学ぶ意義 1) 情報とは 2) 情報化社会の現状 2. 保健医療福祉と情報 1) 医療における情報の種類 2) ヘルスプロモーションと情報 3. 医療における情報システム 1) 病院情報システム 2) 地域医療福祉のネットワークと情報システム 4. 看護における情報システム 1) 看護における情報 2) 病院看護における情報システム 5. 情報倫理と医療 1) 情報倫理 2) 医療倫理 6. 患者・利用者の権利と個人情報 1) 患者の権利と診療情報の開示 2) 医療従事者の責務 7. コンピューターリテラシーと情報セキュリティ 1) インターネットの基礎 2) リスクと自衛			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	<共通>テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.5

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 人間工学		1年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師
学習目標	1. 人間工学の基礎について理解する。 2. 人間機能の諸特性を理解する。 3. 複雑で多様な職場環境下で、看護作業を安全・快適で効率よく行うための知識を身につける。			
テキスト・参考文献	1. 看護・介護を助ける姿勢と動作－イラストで学ぶボディメカニクス－ 小川鑛一 著 東京電気大学出版局			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 人間工学の概要 人間と機械とその制御 2. 人間の生体システム 視覚、聴覚その他の感覚、人間の情報処理 3. 人間の生体システム 人体寸法、人間の骨格・筋肉 4. 動作と道具－手に関わる道具 5. 身体姿勢 6. ボディメカニクス 力とベクトル、圧力、剪断力、摩擦 7. 生活と水 8. テコの原理と力のモーメント 9. おじぎとリンク機構、体位変換 10. 適切な動作速度、安全な介助技術 11. 疲労の分類と諸条件 12. 睡眠の必要性とサーカディアンリズム			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	<共通>テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.6

[illegible]

科目コードNo.7

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 心理学		1年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師 (心理判定員経歴あり)
学習目標	1. 心理学の諸分野についての概観を通して、人間の心理や行動に関する基本原理や関連する概念について理解する。 2. 学んだ知識を日常生活や看護の場面に当てはめて説明できるようにする。			
テキスト・参考文献	テキストは使用しない。講義毎に資料を配付する。 参考図書:「初めて出会う心理学改訂版」長谷川寿一 他著 有斐閣アルマ			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 心理学とは 2. 記憶の心理学 1)短期記憶と長期記憶 2)記憶の変容・忘却 3)記憶の種類 3. 学習の心理学 1)馴化 と 古典的条件づけ① 2)古典的条件づけ② とオペラント条件づけ 3)観察学習 4. 思考の心理学 1)問題解決 2)推論 3)確率判断 4)意思決定 5. パーソナリティ心理学 1)類型論と特性論 パーソナリティの診断法 6. 発達心理学 1)発達段階と発達課題 2)乳幼児期の発達の特徴 3)児童期以降の発達の特徴			講義
評価方法	期末試験 70% 受講態度 30%			
学生へのメッセージ	配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.8

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 日本文化		1年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師
学習目標	1. 日本文化の特質を理解する。 2. よりよい人間関係を築くために必要なソーシャルスキルとしての現代マナーを習得する。 3. 一つひとつの所作の背景(理由や精神)について理解し、日本の文化に興味・関心をもつ。 4. 日本文化としての、思いやりや和のこころを体感し、理解する。			
テキスト・参考文献	1. イラストでわかる礼儀作法基本テキスト 日本能率協会マネジメントセンター ※ 必要物品はその都度提示			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 日本文化の特質 1) 日本文化と歴史 2) 日本の生活文化、言葉、文学や思想、伝統文化(茶道や華道) 2. 礼法の沿革 1) 礼法とは 2) 礼法の歴史 3) 日本の礼儀作法 3. 基本動作と挨拶 1) 姿勢、お辞儀、歩き方、立ち方、座る 2) 挨拶のことば 4. 訪問とおもてなし(接待) 他家や企業の訪問ならびに迎える側の心得 5. 食事の作法 1) 日本料理の基本、正しい箸の使い方 2) 洋食・アルコールのマナー 6. 冠婚葬祭、見舞い 1) 慶事の心得 2) 披露宴での振舞い 3) 見舞いの心得 7. その他の日常生活の心得 服装、電話応対、手紙の基本、美しいことば遣い 8. 美しい日本の文化の習得 季節の行事(五節句、五節句以外の年中行事)			1 2 講義 3～8 講義・演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.9

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 社会・生活論		1年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師 (社会福祉士経歴あり)
学習目標	1. 社会的存在としての人間を理解する。 2. 社会のしくみと機能について理解し、社会で生活することの意味を考えることができる。 3. 社会と人々の生活を社会的・多面的に理解し、人間生活に関わる多様な課題を理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 社会学 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 社会とは何か、社会の成立 2. 人間の社会－人間と社会の関係、社会と国家 3. 家族とは何か 4. 家族の形成、家族の機能と構造 5. 現代家族の諸問題 家族の機能とその変化、家族構成員の果たす役割と家族の関係 6. 生活者とは何か 7. 人間にとっての生活の意味－生活の構成要素、生活経営の意義と方法 8. 生活と文化・価値 9. 生活と倫理 10. 生活の経済と生活設計 11. 生活における職業・趣味 12. 生活と安全行動 13. 家族生活と少子・高齢社会 14. 地域と生活 15. 社会問題、生活問題			講義 演習
評価方法	筆記試験 100% レポート持ち込み可			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.10

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 法と人権		1年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師
学習目標	1. 法の意味と働きを理解する。 2. 現代社会における人権に関する問題を知り、人権の意味を考えることができる。 3. 現代社会における法と医療の問題を理解する。 4. 法的思考、基本的姿勢(問題発見とその論理的解決、解決策の提示と説得)を身につける。			
テキスト・参考文献	1. 看護学生のための法学 日本看護学校協議会共済会			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 法の基礎知識 社会規範、法の意義と種類、法と道徳 2. 日常生活に関する法律 強引な販売方法、不当な契約条件に関する規制、離婚問題・婚約破棄等 3. 人権やプライバシーの保護を目的とする法律 ストーカー規制法、DV 法、児童虐待防止法、個人情報保護法など 4. 患者と人権 1) 看護と法 2) 法と倫理 3) 憲法 4) 基本的人権 5) 医療と基本的人権 6) 医療における自己決定権 7) プライバシーの権利 5. 個人情報保護法 1) 個人情報保護法とは 2) 個人情報保護法と厚生労働省ガイドライン概要 3) 実習記録と個人情報 6. 人間の尊厳 1) 脳死 2) 生体移植 3) 死ぬ権利(尊厳死・安楽死) 4) リヴィング・ウィル 5) 生殖補助医療 6) クローン技術 7) 医療分野における個人情報保護 8) 看護の倫理 7. 人権の成立と保障 1) 権利と義務 2) 個人の尊厳 3) 基本的人権の保障 4) 人権の保障と自由・平等 5) 表現の自由と知る権利			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.11

[illegible]

科目コードNo.12

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 経済学		1年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師
学習目標	1. 高齢社会が抱える諸問題(雇用、年金・医療、福祉等)について、経済学の視点から理解する。			
テキスト・ 参考文献	講義ごとにレジュメを配布する。 参考図書等については講義内で随時紹介する。			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	1. 高齢社会とは 高齢社会が経済に与える影響 2. 雇用の経済学 3. 年金の経済学 4. 医療の経済学 5. 福祉の経済学 6. 世界の高齢者福祉の現状 7. 我が国の今後の課題			講義
評価方法	筆記試験 70% 小テスト 30%			
学生への メッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.13

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 外国語 I (医療英語)		1年次・前期	1単位 30H(15 コマ)	外部講師
学習目標	1. 外国人の患者とのコミュニケーションが円滑にできるような英語力を身につける。 DVD やCDの活用により、病院等で看護師として活動する各場面で必要な英単語、英語表現を学習する。英語で聞ける、話せる看護英語の習得を目指す。			
テキスト・参考文献	1. Talking with Your Patients in English アニメで学ぶ看護英語2 成美堂			
年次毎の教育目標との関連				
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. イントロダクション 2. Chapter1 院内施設・病室内備品 3. Chapter6 診療科目 4. Chapter2 バイタルサイン測定 5. Chapter3 痛みのアセスメント(1) 6. Chapter3 痛みのアセスメント(2) 7. Chapter4 症状(1) 8. Chapter4 症状(2) 9. Chapter9 与薬 10. Chapter10 排泄 11. Chapter11 慢性疾患 12. Chapter12 急性期・手術室 13. Chapter13 妊婦健診 14. Chapter14 医学英文読解 15. 全体のまとめ			講義 毎回実践
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	英和辞書を持参すること。電子辞書可。 各課の Expressions to Remember を予習し、オンラインのStrcamLine 再生などで復習に努めること			

科目コードNo.14

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
基礎分野 外国語Ⅱ（看護英会話）		1年次・後期	1単位 15H(7コマ)	外部講師
学習目標	1. 看護英語(外国語Ⅰ)で習得した知識を基に、医療の現場で活用できる英語力を身につける。			
テキスト・参考文献	1. 看護英語ワークブック 金芳堂			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. イントロダクション Lesson2 Patient Interview 問診 2. Lesson3 Body Temperature and Pulse 体温・脈拍測定 Lesson4 Blood pressure 血圧測定 3. Lesson5 Blood and Urine Sampling 採血・採尿 4. Lesson6 X-ray/Diagnosis レントゲン・診断 Lesson7 Injection 注射 5. Lesson8 Concerning the Operation 手術説明 Lesson9 After the operation 術後 6. Lesson11 Prescription 服薬指導 7. Lesson14 External Injury 外傷 全体のまとめ			講義 毎回実践
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	英和辞書を持参すること。電子辞書可。 テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。 各課の「Core Terms」と「Core phrases」を事前に目を通しておくこと。			

科目コードNo.15

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 解剖生理学 I 細胞、組織、骨格・筋系		1年次・前期	1単位 15H(8コマ)	虫明 元
学習目標	1. 人体の基本構造と人体の基本単位である細胞・組織について理解する。 2. 組織の組み合わせでできる器官の概略を理解する。 3. 骨、関節、筋肉の基本的な構造を理解する。 4. 骨、関節、筋肉の連動による運動のメカニズムを理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 人体の構造と機能① 解剖生理学 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 人体の体区と区分 ① 全身の名称 ② 方向と基準面 ③ 四肢の区分と体幹 ④ 体内の腔 2. 人体の基本単位－細胞、組織、器官 1) 人体の成り立ち ① 人体の特徴 ② 人体の形成 2) 細胞 ① 細胞の構造 ② 遺伝と遺伝情報 ③ 細胞の代謝と機能 3) 組織 ① 上皮組織 ② 支持組織 ③ 筋組織 ④ 神経組織 4) 器官 ① 層構造の器官 ② 実質性の器官 ③ 体腔と器官 5) 器官系概略 ① 循環器系 ② 呼吸器系 ③ 腎・泌尿器系 ④ 消化器 ⑤ 運動器系 ⑥ 感覚器系 ⑦ 神経系 ⑧ 内分泌系 ⑨ 生殖器系 3. 骨格・筋系 1) 骨 2) 骨の連結 3) 骨格筋 4) 各部の骨格と筋の構造と機能 ① 骨と筋の主な運動 ② 体幹の骨と筋 ③ 上肢の骨と筋 ④ 下肢の骨と筋 ⑤ 頭部・頸部の骨と筋			講義
評価方法	講義内小テスト 10% 筆記試験 90%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.16

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 解剖生理学Ⅱ 体液・血液、循環器系、免疫系		1年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師
学習目標	1. 体液および血液成分の役割・調整機能を理解する。 2. 心臓、血管、リンパ管およびリンパ性器官の基本構造と機能を理解する。 3. 免疫系のしくみを理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 人体の構造と機能① 解剖生理学 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 体液と血液 1) 体液 ① 体液の区分と役割 ② 体液の調節 ③ 酸塩基平衡の調節 ④ 体液の恒常性維持機構 ⑤ 体液平衡の異常 2) 血液 ① 血液の細胞成分と造血 ② 血液の機能 ③ 止血と血液凝固 ④ 血液型と輸血 2. 循環器系 1) 循環器の構造と機能 ① 心臓 ② 血管 2) 循環系 ① 肺循環 ② 体循環 ③ 特殊領域の循環 3) リンパ系 ① リンパ系の構成 ② リンパ管の構造と機能 ③ リンパ液 ④ リンパ節 ⑤ 扁桃 ⑥ 脾臓 ⑦ 胸腺 3. 免疫系 1) 非特異的生体防御機構：自然免疫機構 ① 外来性異物からの生体防御機構 ② 上皮のバリア機構 ③ 食細胞と自然免疫 2) 特異的生体防御機構：獲得性免疫機構 ① 獲得免疫に重要な物質、細胞、器官 ② 体液性免疫と細胞性免疫 ③ アレルギー反応			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.17

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 解剖生理学Ⅲ 呼吸器系、消化・吸収・代謝系、腎・泌尿器系		1年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師
学習目標	1. 呼吸器系の基本構造と機能を理解する。 2. 消化・吸収・代謝系の構造と機能を理解する。 3. 腎、尿管、膀胱および尿路の基本構造と排尿の機能について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 人体の構造と機能① 解剖生理学 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 呼吸器系 1) 呼吸器系の構造 ① 上気道 ② 喉頭 ③ 気管と気管支 ④ 肺 ⑤ 胸膜 ⑥ 縦郭 ⑦呼吸筋 2) 呼吸器の機能 ① 肺における換気 ② 外呼吸 ③ ガスの運搬 ④ 内呼吸 3) 呼吸の調節 ① 化学受容器と呼吸器系の受容器 ② 呼吸中枢 ③ 呼吸の調節 ④ 正常呼吸と異常呼吸 2. 消化・吸収・代謝系 1) 消化管の基本構造と機能 ① 基本構造 ② 運動 ③ ホルモン 2) 歯・口腔・咽頭の構造と機能 ① 歯・口腔 ② 咽頭 3) 消化管の構造と機能 ① 食道 ② 胃 ③ 小腸 ④ 大腸 4) 肝臓、胆嚢、膵臓 消化 ① 肝臓・胆嚢 ② 膵臓 5) 栄養素の消化と吸収・代謝 吸収 ① 消化の基本原理 ② 炭水化物 ③ たんぱく質 ④ 脂質 ⑤ 消化吸収に伴う水の移動 ⑥ 排便 6) 腹膜 ① 腸管膜 3. 腎・泌尿器系 1) 腎・泌尿器の構造と機能 ① 腎臓の構造 ② 腎臓の機能 ③ その他の機能:ホルモン、酸塩基平衡、尿素の排泄、電解質調節 2) 尿路 ① 尿管 ② 膀胱 ③ 尿道 ④ 排尿			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配布資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.18

[illegible]

科目コードNo.19

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 日常生活行動のしくみ		1年次・後期	1単位 15H(7コマ)	山本 優子
講師の 実務経験	看護師として病院 計 14 年 5 か月			
学習目標	1. 正常な人の諸器官の形態を理解する。 2. 日常生活行動をどのような身体のしくみで行っているか理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. 新体系看護学全書 形態機能学 人体の構造と機能③ メヂカルフレンド社 〈参考文献〉 1. 看護形態機能学 生活行動からみるからだ 日本看護協会出版会			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	1. 動く・活動する(休息・目覚める含む) 人にとって「動く、活動する」とは 「動く、活動する」を支える形態と機能 人にとって「休息する」とは 「休息する」を支える形態と機能 人にとって「目覚める」とは 「目覚める」を支える形態と機能 2. 息をする 人にとって「息する」とは 「息をする」を支える形態と機能 3. 食べる 人にとって「食べる」とは 「食べる」を支える形態と機能 4. トイレに行く(排泄する) 人にとって「トイレに行く(排泄する)」とは 「トイレに行く(排泄する)」を支える形態と機能			講義
評価方法	筆記試験 90% グループワーク 10%			
学生への メッセージ	既習の解剖生理学の知識を基に、日常生活における解剖生理についてグループワークをする授業です。正常を知ることが、基礎看護技術、フィジカルアセスメント、排泄・食生活の理解につながるため、積極性を持って学習、グループワークに取り組んでほしい。			

科目コードNo.20

[illegible]

科目コードNo.21

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 病理学総論		1年次・後期	1単位 15H(7コマ)	虫明 元
学習目標	1. 疾病の原因や発生病理形態と機能および代謝変化の原理を理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. シンプル病理学 南江堂			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	1. 病理学とは 2. 先天異常 1) 奇形と遺伝性疾患 2) 奇形の種類 3) 遺伝の関与しない奇形 4) 遺伝の関与する奇形 5) 遺伝異常による疾患 6) 遺伝性疾患の診断と治療 3. 代謝障害 1) 萎縮と肥大 2) 変性 3) 壊死 4. 循環障害 1) 循環器系の概要 2) 循環血液量の障害 3) 閉塞性の循環障害 4) 側副循環 5) リンパの循環障害 5. 炎症と免疫 1) 炎症の原因と免疫反応 2) 炎症の各型 3) 免疫と疾患 4) 炎症の治療 6. 腫瘍 1) 腫瘍の定義と分類 2) 悪性腫瘍の転移と進行度 3) 腫瘍の発生病理 4) 加齢と悪性腫瘍の発生 5) 腫瘍の診断と治療 7. 老化と死			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生への メッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.22

[illegible]

科目コードNo.23

	授業科目	履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 病態論Ⅰ 運動器系疾患		1年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師(医師)
学習目標	1. 主な運動器系疾患の発生機序、病態、検査・治療について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 運動器 成人看護学⑩ 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 基礎知識 診断と検査 1) 症状のとらえ方 2) 診断の方法 3) 検査の方法 2. 主な疾病と診療 1) 変形性関節症 変形性膝関節症・変形性股関節症 (関節可動域訓練：演習) 2) 関節リウマチ 3) 脊椎・脊髄疾患 椎間板ヘルニア(腰椎・頸椎)、脊髄損傷、腰椎圧迫骨折、 脊柱側弯症・脊柱管狭窄症 4) 末梢神経の損傷と障害 手根管症候群、腓骨神経麻痺 5) 骨粗しょう症 6) 骨折 上腕骨果(顆)上骨折、膝蓋骨骨折、鎖骨骨折、大腿骨頸部骨折、 大腿骨幹部骨折、橈骨下端骨折 (効果的な固定法、牽引法、筋力増強訓練：演習) 7) スポーツ傷害 アキレス腱断裂 (免荷・歩行補助具・自助具の適応：演習) 8) 骨・軟部腫瘍 9) その他 肩関節周囲炎、肩関節脱臼			講義
				演習
				演習
				演習
				演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

[illegible]

科目コードNo.25

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 病態論Ⅲ 循環器系疾患		1年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(医師)
学習目標	1. 主な循環器系疾患の発生機序、病態、検査・治療について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 循環器 成人看護学③ 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 基礎的知識 1) 構造と機能 2) 症状と病態生理 3) 診断と検査 2. 主な疾病と診療 1) 先天性心疾患 心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、ファロー四徴症 2) 後天性心疾患 虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)、 心膜疾患(心膜炎・心タンポナーデ)、心筋症(拡張型・肥大型)、 肺性心、心不全、感染性心内膜炎、弁膜症、ショック (心電図の測定と所見:演習) 3) 血圧異常 本態性高血圧、二次的高血圧、低血圧症 4) 不整脈疾患 心房細動・心房粗動、上室性頻拍、心室頻拍、心室細動、 房室ブロック、洞不全症候群 (不整脈の種類と判断の仕方:演習) 5) 血管の疾患 動脈硬化症、大動脈疾患(大動脈瘤・大動脈解離)、静脈疾患			講義
				演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配布資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.26

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 病態論Ⅳ 消化器系疾患		1年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(医師)
学習目標	1. 主な消化器疾患の発生機序、病態、検査・治療について理解する。 2. 主な肝臓・胆道・膵臓疾患の発生機序、病態、検査・治療について理解する。 3. 主な乳腺疾患の発生機序、病態、検査・治療について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 消化器 成人看護学⑤ 医学書院 2. 系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	[消化器系疾患] 1. 基礎的知識 1) 構造と機能 2) 症状と病態生理 3) 診断と検査 2. 主な疾病と診療 1) 食道の疾病-食道癌、食道アカラシア (演習:咀嚼・嚥下訓練) 2) 胃・十二指腸疾患-胃・十二指腸潰瘍、胃癌 3) 腸(小腸、大腸)の疾病-腸閉塞(イレウス)、ダンピング症候群、 潰瘍性大腸炎、クローン病、過敏性腸症候群、 虫垂炎、大腸ポリープ、大腸癌、直腸脱、痔核、 肛門周囲膿瘍			講義
	[肝臓・胆道・膵臓疾患] 1. 基礎的知識 1) 構造と機能 2) 症状と病態生理 3) 診断と検査 2. 主な疾病と診療 1) 肝疾患-肝炎(急性・慢性)、肝硬変(食道静脈瘤)、薬物性肝障害、 肝腫瘍、肝不全 2) 胆道疾患-胆石症、胆嚢ポリープ、胆道腫瘍 3) 膵疾患-膵炎(急性・慢性)、膵腫瘍 [乳腺疾患] 1. 基礎的知識 1) 構造と機能 2) 症状と病態生理 3) 診断と検査 2. 主な疾病と診療 乳がん、乳腺炎、乳腺症			演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.27

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 病態論Ⅴ 代謝・内分泌系疾患		1年次・後期	1単位 15H(7コマ)	外部講師 (医師経歴あり)
学習目標	1. 主な代謝・内分泌系疾患の発生機序、病態、検査・治療について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 内分泌・代謝 成人看護学⑥ 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 基礎的知識 1) 構造と機能 2) 症状と病態生理 3) 診断と検査 2. 主な疾病と診療 [内分泌疾患] 1) 視床下部の異常-視床下部腫瘍(尿崩症)、下垂体機能低下症 2) 下垂体の異常-下垂体腫瘍(先端巨人症、プロラクチノーマ、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群) 3) 甲状腺疾患-甲状腺機能亢進症、甲状腺クリーゼ、甲状腺機能低下症、甲状腺腫瘍 4) 副甲状腺疾患-副甲状腺機能低下症 5) 副腎疾患-クッシング症候群、原発性アルドステロン症、副腎皮質機能低下症、褐色細胞腫・神経芽細胞腫、副腎不全 6) 性腺疾患-思春期早発症、性腺機能低下症 [代謝疾患] 1) 糖質代謝異常-糖尿病、糖原病 2) 脂質代謝異常-高脂血症、低脂血症 3) たんぱく・アミノ酸異常-血漿たんぱく異常、アミロイドーシス 4) 水・電解質の代謝異常-ナトリウム代謝異常、カリウム代謝異常 5) 栄養異常-肥満症、メタボリック症候群、低栄養、ビタミン欠乏症 6) その他の代謝疾患 痛風			講義
	3. 検査データのアセスメント(演習)			演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.28

[illegible]

科目コードNo.29

授業科目	履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 病態論Ⅶ 脳・神経系疾患	1年次・後期	1単位 15H(7コマ)	外部講師(医師)
学習目標	1. 主な脳・神経系疾患の発生機序、病態、検査・治療について理解する。		
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 脳・神経 成人看護学⑦ 医学書院		
講義内容・方法	講義内容		講義方法
	1. 基礎的知識 1) 構造と機能 2) 症状と病態生理 3) 診断と検査 (髄液検査時の援助：演習) 2. 主な疾病と診療 1) 脳血管障害 脳血栓・塞栓症・一過性脳虚血発作 脳出血、クモ膜下出血、脳血管性認知症、もやもや病 外傷性頭蓋内血腫（急性・慢性） (空間失認の生活訓練、失語・構音障害の生活訓練：演習) 2) 神経系の腫瘍 髄膜腫、神経鞘腫、グリオーマ(神経膠腫)、脳下垂体腺腫、髓芽腫 (脳 CT 画像所見：演習) 3) 神経系の感染症 髄膜炎、脳膿瘍、クロイツフェルト・ヤコブ病 4) 機能性疾患 てんかん、頭痛 5) 神経変性疾患 パーキンソン病、アルツハイマー病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症 6) 脱髄性疾患 多発性硬化症 7) 脊髄・脊椎疾患 脊髄空洞症、脊髄腫瘍 8) 末梢神経疾患 ギラン・バレー症候群、多発神経炎 9) 筋疾患 重症筋無力症、多発筋炎・皮膚筋炎、筋ジストロフィー		講義 演習 演習 演習
評価方法	筆記試験 100%		
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。		

[illegible]

科目コードNo.31

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 臨床薬理学		1年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師
学習目標	1. 医薬品の生体に及ぼす作用を理解する上で必要な基礎的知識を習得する。 2. 医薬品の有効性、安全性、薬物が生体に作用する仕組みを理解する。 3. 臨床で使用されている薬物の中で、特に基本となる薬物について、投与方法及び量と薬理効果の関係、薬物が人体に作用する仕組みを理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新クイックマスター 薬理学 サイオ出版 2. 今日の治療薬 2026 南江堂			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 医薬品総論 1) 医薬品 2) 医薬品の作用原理とその影響 3) 医薬品の適正利用 (医薬品添付文書の読み方、処方から投与までの流れ、処方箋の見方:演習) 2. 主な生活習慣病に使用する薬 1) 生活習慣病 2) 高血圧 3) 狭心症 4) 心筋梗塞 5) 高脂血症 6) 糖尿病 3. がん・痛みに使用する薬 1) がん使用する薬 2) がん性疼痛に使用する薬 3) その他の痛みに使用する薬 4. 感染症に使用する薬 1) 細菌感染症 2) ウイルス感染症 3) 真菌感染症 4) 寄生虫感染症 5) 消毒薬(濃度計算:演習) 6) 予防接種薬 5. 脳・中枢神経系疾患で使用する薬 1) 中枢神経系のはたらきと薬 2) 抗てんかん薬 3) パーキンソン病治療薬 4) 向精神薬 5) 急性期脳血管障害の薬物療法 6. 救命救急時に使用する薬 1) ショックに対して使用する薬 2) 医薬品に関連した中毒の治療に使用する薬 3) 救急カートに必要な薬 4) 麻酔時に使用する薬 輸液(濃度・量、滴下数の計算など:演習) 7. アレルギー、免疫不全状態の患者に使用する薬 1) 気管支喘息と薬物療法 2) 呼吸器疾患に使用する薬(咳嗽、喀痰に対する薬含む) 3) 関節リウマチと薬物療法 4) 全身性エリテマトーデスと薬物療法 8. 消化器系疾患に使用する薬 9. その他の症状に使用する薬			講義 演習 演習 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.32

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 治療法概説		1年次・後期	1単位 30H(15コマ)	虫明 元 外部講師
学習目標	1. 運動療法、放射線療法、内視鏡的治療、リハビリテーションの基礎的知識を理解する。 2. 手術療法ならびに麻酔法による生体への影響を理解する。 3. 代表的な手術療法の適応と術前・術後管理、術後合併症の予防法と経過・予後、手術に伴って発生する合併症の治療について理解する。 4. チーム医療の目的、チーム医療における各職種の役割とスキルを理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 別巻 治療法概説 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 運動療法 1) 運動療法の目的・種類・特徴 2) 運動療法の対象となる疾患 3) 運動処方の原則・副作用 2. 放射線療法 1) 放射線療法の目的・種類・特徴 2) 放射線療法の適応と進め方 3) 放射線障害と放射線防護 3. 内視鏡的治療 1) 内視鏡的治療の目的 2) 内視鏡的治療の種類・適応 止血術、食道・胃静脈瘤治療、消化管狭窄に対する治療 内視鏡的粘膜切除術、経皮内視鏡的胃瘻増設術 内視鏡的胆道ドレナージ、乳頭切開術、内視鏡外科手術 4. リハビリテーション療法 1) リハビリテーションの概要と適応 2) リハビリテーションの種類と特徴 3) リハビリテーションの実践(演習) 5. 手術療法 1) 手術療法の目的と意義 2) 外科手術手技・処置の基本 3) 麻酔の種類、気管内挿管 4) 手術室の管理、術前・術後管理と術後合併症の管理 外科的侵襲と生体の反応、炎症と外科的感染症、生体の損傷 腫瘍の外科的治療、臓器移植 6. 術後合併症の予防法(演習) 7. チーム医療 1) チームの目的 2) チーム医療における各職種の役割 3) チーム医療の構築に求められるスキル			講義
				演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.33

	授業科目	履修年次・学期	単位・時間	講師名
	専門基礎分野 現代医療論	3年次・前期	1単位 15H(7コマ)	虫明 元
学習目標	1. 医学・医療とは何か、現代医療はどのように行われ、どのような問題をかかえているのか理解する。 2. 現在の医療の様相を理解し、今後の医療における看護の責務を考察する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 現代医療論 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 医学・医療のあゆみ 1) 経験的医療から医学医療の近代化 2) 近代医学の発展 3) 今後の医学・医療の方向 2. 医学と医療 1) 医学と医療 2) 現代医療の本質 3) 医療の実践 3. わが国の医療提供体制 1) 医療提供体制の現状と整備の経過 2) 医療関係者の現況と養成の実態 3) 医療保障の現状と課題 4. 現代医療における諸問題(事例検討) 1) 医療の進歩と医の倫理 2) 医療における患者の権利 3) 病状(真実)の告知 4) 脳死と臓器移植 5) 死と生命保持、安楽死、死を共有する医療			演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.34

[illegible]

科目コードNo.35

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 公衆衛生学Ⅰ		1年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師
学習目標	1. 健康の概念やそれに関わる保健の概念を説明できる。 2. わが国の人口や保健衛生の動向に関わる統計を理解できる。 3. 健康指標の役割を理解し、それらから明らかにされるわが国の健康状況の実態について説明できる。 4. わが国の主要疾患(生活習慣病・感染症等)と疾病予防対策について理解できる。 5. 環境要因と健康のかかわりについて理解できる。			
テキスト・参考文献	1. 衛生・公衆衛生学 (アイ・ケイコーポレーション) 必要に応じてプリントも配布する <参考資料> 1. 国民衛生の動向(厚生統計協会)			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	第1回:公衆衛生概論 第2回:人口統計・保健統計から見たわが国の健康状況 第3回:健康状況の把握方法 第4～5回:わが国の主要疾患(生活習慣病、感染症など)と予防対策 第6～7回:環境要因(食品、暮らし・地域・地球規模)と健康			全回対面授業
評価方法	出席を重視し、定期試験や授業時に行う小テストにより総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	公衆衛生学は1年次と3年次とに分けて履修する。1年次では主に国民全体の健康にかかわる事項について学び、3年次でライフステージごとに健康状況を学ぶ際の基礎知識となる。予習:授業内容に相当する教科書の章部分に目を通し、重要点を把握する。復習:教科書や配布資料、ノートを読み直し、授業の内容を整理する。			

科目コードNo.36

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 公衆衛生学Ⅱ		3年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師
学習目標	1. 地域における保健衛生分野の現状と課題、今後の方向性について理解する。 2. ライフステージごとの保健活動、とくに人的サービスについて理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. 衛生・公衆衛生学(アイ・ケイコーポレーション) 必要に応じてプリントも配布する <参考資料> 1. 国民衛生の動向(厚生統計協会)			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	第1回:わが国・世界の健康問題(SDGsを踏まえて) 第2回:地域保健活動(保健所と市町村保健センターの役割) 第3回:社会保障のしくみと役割 第4回:母子保健活動 第5回:学校保健活動 第6回:成人・高齢者保健活動 第7回:産業保健活動			全回対面授業
評価方法	出席を重視し、定期試験や授業時に行う小テストにより総合的に評価する。			
学生への メッセージ	1年次で履修した公衆衛生学Ⅰでは国民全体の健康と公衆衛生について学んだ。3年次の公衆衛生学Ⅱで履修するライフステージごとの健康の把握と合わせて公衆衛生学の全容を知ることとなる。1年次で触れた教科書等の内容を読み返しておくといよい。 予習:授業内容に相当する教科書の章部分に目を通し、重要点を把握する。 復習:教科書や配布資料、ノートを読み直し、授業の内容を整理する。			

科目コードNo.37

[illegible]

科目コードNo.38

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門基礎分野 社会福祉学Ⅱ		2年次・後期	1単位 15H(7コマ)	外部講師 (社会福祉士)
学習目標	1. 保健・医療・福祉の連携を図るために、社会福祉の制度やしぐみを理解する。 2. 社会的な生活困難を抱える人々を総合的に支援する援助技術や、社会福祉の果たす役割を理解し、今後の方向性を考える。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 3 社会福祉 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 社会福祉の諸制度と施策 1) 生活保護法と施策 (生活保護申請の流れシミュレーション:演習) 2) 児童福祉と施策 3) 身体障害児の福祉施策 4) 障害者の福祉施策 5) 知的障害者(児)の福祉施策 6) 精神障害者の福祉施策 7) 高齢者の福祉施策 2. 社会福祉行政のしくみ 1) 福祉行政の実施体制(国と地方) 2) 社会福祉実践組織と運営 3) 福祉の専門職と職種 3. 社会保障・社会福祉改革の動向 1) 少子高齢社会と社会保障改革 2) 福祉改革と社会福祉基礎構造改革			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.39

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:基礎看護学 基礎看護学概論		1 年次・前期	1単位 30H(15 コマ)	小野寺 江利子
講師の 実務経験	看護師として病院 計 22 年 7 か月			
学習目標	1. 看護の歴史的変遷を踏まえながら、看護の概念、看護の役割を理解する。 2. 看護理論の概要を理解する。 3. 看護の対象である人間の特徴と生活者としての人間を理解する。 4. 健康の概念を広く捉えて理解する。 5. 看護の機能と役割を理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. 系統看護学講座 基礎看護学① 看護学概論 医学書院 <サブテキスト> 1. 看護に生かす看護理論 19 サイオ出版 <参考文献> 1. 看護者の基本的責務～定義・概念/基本法/倫理～ 日本看護協会出版会			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	1. 看護の本質 1) 看護の歴史的変遷 2) 看護の定義 3) 保健師助産師看護師法 2. 看護の対象 1) 生活統合体としての人間 2) 発達・変化するものとしての人間 3) 人間のニーズと適応 4) 環境の変化と対処機制 3. 健康と看護 1) 健康の概念 2) QOL と健康 3) 人々の健康状態と生活 4. 保健医療システムと看護 1) 保健医療提供システム 2) 保健医療の提供とチーム活動 3) 主な看護活動展開の場と看護の機能 4) チームアプローチと看護 5. 看護の役割と機能 1) 看護の機能と役割 2) 看護をめぐる制度 3) 看護職の継続教育とキャリア開発			講義 演習
評価方法	筆記試験 100% レポート提出状況・内容を加算・減点する。			
学生への メッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。 基礎看護学概論は、初めての専門科目で看護を学ぶ上での導入にあたります。看護について 様々な視点から探求し、深化させることができるよう学習に臨んでください。また、職業として の看護だけでなく、看護学という学問を学ぶという視点から、自ら取組む姿勢、常に考える態度 を養ってください。			

科目コードNo.40

[illegible]

科目コードNo.41

[illegible]

科目コードNo.42

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:基礎看護学 共通基本技術Ⅲ コミュニケーション・安全管理		1年次・前期	1単位 30H(15コマ)	泉 留美子 外部講師(看護師)
講師の実務経験	泉 看護師として病院 計 14 年			
学習目標	1. 看護におけるコミュニケーションの意義を理解し、効果的なコミュニケーションのための技術を習得する。 2. 看護における安全の意義を理解し、安全の基本に基づいた看護を実践するための技術を習得する。 3. 感染予防の意義と感染予防技術の基本を理解し、原理・原則に沿った手洗い・滅菌操作の技術を習得する。			
テキスト・参考文献	1. 系統別看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. コミュニケーションの技術 1) コミュニケーションとは 2) 看護とコミュニケーション 3) 医療における信頼関係とコミュニケーション 4) 看護場面の再構成と分析 2. 安全管理の技術 1) 看護事故の構造と防止の視点 2) 看護事故防止のための対策（演習含む） (1)患者の誤認防止策の実施 (2)誤薬防止 (3)安全な療養環境の整備(転倒・転落・外傷予防) (4)放射線の被ばく防止策の実施 (5)人体へのリスクの大きい薬剤のばく露予防策の実施 3) 組織としての事故防止対策 3. 感染予防の技術 1) 感染予防対策の基本(スタンダード プリコーション) 2) 感染予防における看護師の責務と役割 3) 感染源への対策 4) 感染経路への対策 4. 援助の実際(演習) 1) 看護場面におけるコミュニケーション 2) プロセスレコード 3) スタンダード・プリコーション(標準予防策)に基づく手洗い 4) 必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択・着脱 5) 使用した器具の感染防止の取り扱い 6) 感染性廃棄物の取扱い 7) 無菌操作 8) 針刺し事故の防止・事故後の対応			講義
				演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。 医療現場における安全管理の重要性を理解し、医療事故のメカニズムと対策を学びます。 特に標準予防策の理論に基づき、手指衛生や個人防護具の適切な使用方法を、演習を通して習得します。			

科目コードNo.43

[illegible]

科目コードNo.44

[illegible]

科目コードNo.45

[illegible]

科目コードNo.46

[illegible]

科目コードNo.47

[illegible]

[illegible]

科目コードNo.49

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野：基礎看護学 臨床判断基礎		2 年次・前期	1単位 30H(15 コマ)	石井 喜久子
講師の 実務経験	看護師として病院 計 13 年			
学習目標	1. 臨床推論・臨床判断の概要を理解する。 2. 主要症状・経過別看護の基礎知識を活用し、必要な看護を推測・判断する。 3. 対象の変化に気づき、ファーストアセスメント・フォーカスアセスメントができる。			
テキスト・ 参考文献	1. アセスメントに自信がつく臨床推論入門 MCメディカ出版 <参考文献> 1. 臨床推論トレーニングブック 金芳堂 2. 臨床判断ティーチングメソッド 医学書院 3. 臨床看護総論-基礎看護学④ 医学書院			
	講義内容			講義方法
講義内容・ 方法	1. 臨床判断の定義・4つのフェーズ(段階) 2. 臨床推論の定義・プロセス 3. 臨床判断-気づきのトレーニング 日常生活場面から療養生活を想定する看護師の判断と根拠 4. 健康状態の経過に基づく看護 1) 急性期 2) 慢性期 3) 回復期 4) 終末期 5. 主要な症状を示す対象者への看護 1) 発熱 2) 呼吸困難 3) 腹痛 4) 浮腫 5) 胸痛 6. ファーストアセスメント・フォーカスアセスメント(講義) 1) ファーストアセスメント:医療場面～緊急度 2) フォーカスアセスメント:状態に応じた看護行為 7. 主要症状のファーストアセスメント・フォーカスアセスメント(演習) 気づき(主要症状)、仮説を立てながら必要な情報を考える 発熱、呼吸困難、浮腫、高血圧・低血圧、しびれ・麻痺 8. シミュレーション・個人課題(総合まとめ、試験)			講義
				演習
評価方法	筆記試験 50% 課題レポート 50%			
学生への メッセージ	臨床の間では、患者さんの症状の変化や病状の経過に応じて状況を的確に判断し、最適な看護を提供することが求められます。また、目の前のケアだけでなく、先を見据えた看護を考える姿勢も大切です。「患者さんの状態や小さな変化に気づく力」を育て、自分で考え、根拠をもって行動できる思考を身に付けていきます。チーム医療の一員として役割を果たしながら、自律した専門職としての一步を踏み出すことを目指しましょう。事前課題やグループワークには積極的に取り組み、多くの学びを得ていきましょう。			

科目コードNo.50

[illegible]

科目コードNo.51

[illegible]

科目コードNo.52

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:地域・在宅看護論 生活環境論		1年次・前期	1単位 15H(7コマ)	小野寺 江利子
講師の 実務経験	看護師として病院 計 22 年 7 か月			
学習目標	1. 地域で暮らす人々とその家族を理解する。 2. 暮らしが健康に与える影響を理解する。 3. 地域のコミュニティ活動と健康への影響を理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. ナーシング・グラフィカ 基礎からわかる地域・在宅看護論 照林社			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	1. 地域に暮らす人々 1) 個人の暮らし 2) 個人の暮らしに関わる人々・家族 3) 地域の人々の暮らし 4) ライフステージからみる暮らし 2. 地域の人々の健康を守る仕組み 市役所、保健所、保健センター、病院、診療所など 3. 地域の健康を守る人々・職種 地域住民の活動・市町村の取り組み・ボランティア・NPO 医療職・福祉職など			講義
	4～5. フィールドワーク 地域活動への参加 近隣の町内や自分の生活圏内の地域活動に参加する。 目的、概要、活動の実際、住民に与える影響をまとめる			FW
	6. 地域のコミュニティの場(GW) 互助の活動の目的・種類・効果をまとめる			GW 発表
	7. 地域の人々の暮らしと健康 (課題レポート) 暮らしや地域活動が健康への与える影響			
評価方法	課題レポート 50% 筆記試験 50%			
学生への メッセージ	生活者としての人が、地域とどのようにつながり暮らしているかを学びます。また、地域の活動が暮らしや健康に影響しているかを学校のある地域のフィールドワークや、自分の生活圏での地域活動への参加から理解を深めます。			

科目コードNo.53

	授業科目	履修年次・学期	単位・時間	講師名
	専門分野：地域・在宅看護論 地域・在宅看護の対象	1年次・後期	1単位 15H(7コマ)	外部講師(保健師)
学習目標	1. 様々な健康状態にある人の暮らしと、暮らしを守る地域の支援について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 基礎からわかる地域・在宅看護論 照林社 2. ナーシング・グラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版 3. 国民衛生の動向 厚生統計協会			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 地域・在宅看護の対象 1) ライフサイクルから見た対象 2) 健康障害レベル・疾患から見た対象 3) 暮らしの場から見た対象 2. 地域・在宅療養の場における家族の捉え方 1) 家族の定義、家族の機能と役割 2) 家族発達理論、家族システム理論、家族のストレス理論 3. 日本における家族の特徴・家族形態に応じた看護 1) 家族のアセスメントモデル 4. 暮らしの場における看護の対象 1) 健康診断 2) 医療機関の外來 3) 訪問サービス(訪問診療・訪問看護・介護サービス等) 4) 入所施設 5) 通所施設 5. 身近にある地域包括ケアシステムを理解する 1) 地域包括支援センターの地域活動 2) 介護予防教室 3) 健康相談・実態調査 4) インフォーマルサービス等の見学 6. 地域の人々が望む生活と看護活動の展望 1) 看護上の課題・問題 2) 予防活動			見学
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	多様な年齢、職種、健康状態にある看護の対象者の特性、家族の機能についての知識を深めます。介護予防教室や健康相談の見学や、暮らしの中で療養する対象者の学習を通して、地域で暮らす人をより深く知り、その人らしい生活を支える地域包括ケアシステムについて学ぶ科目です。			

科目コードNo.54

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:地域・在宅看護論 地域・在宅看護論概論		2年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師(看護師)
学習目標	1. 地域で療養する人を理解し、自立支援・継続看護の方法について理解する。 2. 訪問看護ステーションの機能と活動を理解する。 3. 療養者の疾患の特徴とケアのポイント、利用できる社会資源を理解する。			
テキスト・参考文献	1. ナーシング・グラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版 2. ナーシング・グラフィカ 在宅療養を支える技術 メディカ出版 3. 国民衛生の動向 厚生統計協会			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 地域・在宅看護の対象と背景 1) 国民の価値観 2) 疾病構造 3) 地域・在宅ケアの必要性 2. 在宅看護の目的と役割 1) 看護の継続性 2) 在宅看護の目標 3) 在宅看護の基本 4) 家族介護者の理解と健康支援(アセスメント、関係調整、介護者の健康、レスパイトケア) 5) 地域・在宅看護における権利保障 (1)自己決定支援 (2)権利擁護(アドボカシー、成年後見制度) (3)サービス提供者の権利擁護 (4)虐待防止 (5)個人情報の保護と開示 6) 在宅療養者の自立・自律支援 (1)個人の尊重 (2)意思決定支援 (3)QOL 維持・向上 (4)セルフケア (5)社会参加 3. 在宅看護の対象の理解 1) 在宅看護を必要とする人と家族、抱えている問題、生活環境 2) 社会資源活用のニーズ 4. 社会の変遷と保健医療福祉対策の関係 1) 在宅看護の変遷 2) 在宅看護と地域看護 3) 訪問看護制度 4) 地域・在宅に関わる社会保障制度 (1)健康保険法 (2)介護保険法 (3)障害者総合支援法 5) 診療報酬・介護報酬と訪問看護 6) 地域包括ケアシステム 5. 訪問看護の活動と特徴 1) 訪問看護の特性、対象、形態、役割 2) 訪問看護に必要なこと、今後の課題 6. 在宅における援助技術 1) 生活ケアと医療的ケア 7. 在宅看護の動向と今後の発展			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	地域療養を支える制度、在宅看護の生活の場に応じた看護の特徴、訪問看護の活動など、地域・在宅看護の基盤となる知識を習得する科目です。社会背景や保健医療福祉対策など、理解の難しい項目はテキストを熟読して復習をしてください。			

科目コードNo.55

[illegible]

[illegible]

科目コードNo.57

[illegible]

科目コードNo.58

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:成人看護学 成人看護学概論		1年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師 (看護師・保健師)
学習目標	1. 成人看護学の概要をふまえ、成人期にある人の特徴を理解する。 2. わが国の成人をとりまく社会環境と健康課題を理解する。 3. 成人看護の目標と役割について理解する。 4. 成人におけるヘルスプロモーションの機能と活動内容の概要を理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 成人看護学[1] 成人看護学総論 医学書院 2. 国民衛生の動向 厚生統計協会			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 成人看護の対象 1) ライフサイクルからみた成人期 2) 成人期の区分 3) 成人期の看護問題とその把握 2. 成人各期の特徴と保健問題 1) 青年期 2) 壮年期 3) 向老期 3. 成人保健 1) 成人保健の動向と対策 2) 生活習慣病の予防 3) 成人保健と性 4) 成人保健と労働 4. 成人の健康レベルに応じた看護 1) ヘルスプロモーションと看護 2) 健康を脅かす要因への看護 3) 健康レベル別の成人の特徴と看護 (1)急性期にある人の看護 (2)慢性疾患と共存する人の看護 (3)回復期にある人の看護 (4)終末期にある人の看護 5. 成人看護のアプローチの基本 1) 学習者である成人への看護技術 2) 意思決定支援 3) 成人における倫理的課題 4) 家族支援			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	成人期の多様な健康課題を理解し、対象を全人的に捉え、セルフケア支援や問題解決に向けた看護の基盤を、理論と実践を結び付けて学ぶ内容です。自らも成人学習者としてグループワークやディスカッションに積極的に参加し、看護の哲学と実践力を養う土台をつくりましょう。テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨むこと。			

科目コードNo.59

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:成人看護学 成人看護援助論Ⅰ 主な疾患と看護 周手術期看護、がん看護、リハビリテーション 看護、救命救急看護		2年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師)
学習目標	1. 周手術期の患者の特徴と看護について理解する。 2. がん患者の特徴と看護について理解する。 3. リハビリテーション期にある患者の特徴と看護について理解する。 4. 救命救急対応を要する患者の特徴と看護について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 成人看護学[1]成人看護学総論 医学書院 2. 系統看護学講座 基礎看護学[4]臨床看護総論 医学書院 3. 系統看護学講座 別巻 救急看護学 <参考文献> 1. 系統看護学講座 別巻 がん看護学、緩和ケア 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	[周手術期看護] 1. 手術療法と周手術期における看護師の役割 2. 手術療法による生体への侵襲 1) 術後の経過と生体反応 2) 手術侵襲に対する神経・内分泌の反応 3) 周手術過程の症状(疼痛、咳嗽・痰、高血圧・低血圧、多尿・乏尿・無尿、脱水、発熱、感染) 3. 術式による特徴的な手術看護 開頭術・開心術・開胸術・開腹術、感覚器・運動器・頭頸部の手術・鏡視下手術・日帰り手術 4. 周手術期の看護 1) 術前の看護 2) 手術当日の看護 3) 手術中の看護(体位・麻酔による影響、安全管理) 4) 手術後の看護(生体反応、疼痛管理、創傷管理、ドレーン管理) 5. 術後合併症の予防 1) 術後出血 2) 下肢静脈血栓・肺塞栓症 3) 呼吸器合併症 4) 感染症 5) イレウス 6) 縫合不全 7) DICとMOF 8) 術後せん妄 6. 術後の機能障害や生活制限への看護 1) ボディイメージへの支援 2) 退院調整 3) 機能訓練 4) セルフケア能力獲得 [がん看護] 1. がん患者の抱える苦痛 1) 転移・浸潤 2) 再発や経過の不確かさに伴う心理的苦痛 3) 社会的偏見や制約に伴う苦痛 4) スピリチュアルな苦痛 2. がん患者の生活上の困難 全身消耗、倦怠感、疼痛に伴う活動制限 3. がん患者の治療と看護 1) 広範囲で侵襲性の高い手術療法 2) 化学療法を受ける対象への援助 3) 放射線療法を受ける患者への援助 4. がん患者の社会参加への支援 5. 緩和ケア・エンドオブライフケア			講義 演習

	[リハビリテーション看護] 1. リハビリテーションの特徴 1) 患者の特徴 2) リハビリテーション医療チームの協働 2. 機能障害のアセスメント 1) 生活機能障害と日常生活動作 2) 住居環境 3. 障害に対する受容と適応への看護 1) 安全と安楽を保つための援助 2) 廃用症候群の予防 3) 日常生活動作・活動範囲拡大に向けた看護 4) 補助具・自助具の活動 5) 障害受容・心理的葛藤への援助 4. 経過別のリハビリテーションと看護 5. チームアプローチと社会資源の活用 1) 多職種連携 2) 社会資源の活用 6. 患者の社会参加への支援 1) 就労条件・環境の調整 2) 社会参加を促す要素と阻害要因 [救命救急看護] 1. 緊急度と重症度のアセスメント 2. 救急看護・クリティカルケアの基本 1) 救急看護の特徴 2) 集中治療を受ける対象者への看護 集中治療室の特徴・環境、集中治療室で行われる治療・検査・処置 3) 集中治療を受ける対象者とその家族の特徴と援助 心肺停止状態、ショック、急性症状、中毒、環境要因による障害(体温異常・熱中症)、感染症、脳死・臓器移植 4) 創傷処置・創傷ケアを受ける対象者への看護 創傷・熱傷 5) 治療用医療機器の原理と実際 人工呼吸器、除細動器	
評価方法	筆記試験 100%	
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。	

科目コードNo.60

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:成人看護学 成人看護援助論Ⅱ 循環機能・内部環境・内分泌機能障害の看護		2年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師)
学習目標	1. 各機能障害が生活に与える影響を理解する。 2. 各機能障害に行われる検査・処置・治療における看護を理解する。 3. 各機能障害の経過・症状に応じた看護について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 成人看護学[3] 循環器 医学書院 2. 系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院 3. 系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	[循環機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) ポンプ機能障害 2) 刺激伝導障害 3) 血管・リンパ管障害 4) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 心電図 2) 心血管超音波 3) 血管造影 4) 心臓カテーテル 3. 治療を受ける患者への看護 1) 経皮的冠動脈形成法 2) 冠動脈バイパス術 3) 弁置換・弁形成術 4) 大動脈バルーンパイピング 5) ペースメーカー 6) 植え込み式除細動器 7) 血栓溶解療法・血栓除去術 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 心不全 2) 虚血性心疾患 3) 弁膜症 4) 不整脈 5) 閉塞性動脈硬化症 [内部環境機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 体温調節機能障害 2) 血糖調節機能障害 3) 体液量調節機能障害 4) 電解質調節機能障害 5) 酸塩基平衡調節機能障害 6) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 糖負荷試験 2) 血糖自己測定 3) 静脈性尿路造影 4) 腎生検 3. 治療を受ける患者への看護 1) インスリン補充療法 2) 糖尿病経口薬による治療 3) 食事・運動療法 4) 急性期持続血液濾過透析 5) 血液透析 6) 腹膜透析 7) 腎移植 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 低体温症 2) 1型糖尿病 3) 2型糖尿病 4) 急性腎不全 5) 慢性腎不全 6) 慢性腎臓病 7) 腎移植術後 [内分泌機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 甲状腺機能障害 2) 副腎機能障害 3) 下垂体機能障害 4) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) ホルモン血中・尿中濃度測定 2) ホルモン負荷試験 3. 治療を受ける患者への看護 1) 甲状腺ホルモン療法 2) 甲状腺切除術			講義 演習

科目コードNo.60

	4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症・低下症) 2) 腫瘍(甲状腺癌、下垂体腫瘍)	
評価方法	筆記試験 100%	
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。	

科目コードNo.61

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:成人看護学 成人看護援助論Ⅲ 呼吸機能障害・生体防御機能障害の看護		2年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師)
学習目標	1. 各機能障害が生活に与える影響を理解する。 2. 各機能障害に行われる検査・処置・治療における看護を理解する。 3. 各機能障害の経過・症状に応じた看護を理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 成人看護学[2] 呼吸器 医学書院 2. 系統看護学講座 成人看護学[4] 血液・造血器 医学書院 3. 系統看護学講座 成人看護学[11] アレルギー・膠原病・感染症 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	[呼吸機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 酸素化障害 2) 換気障害 3) 呼吸運動障害 4) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 動脈血ガス分析 2) 呼吸機能検査 3) 気管支鏡検査 4) 胸腔穿刺 5) 肺生検 3. 治療を受ける患者への看護 1) 酸素療法 2) 非侵襲的陽圧換気 3) 侵襲的陽圧換気 4) 肺切除術 5) 胸腔ドレナージ 6) 吸入による薬物療法 7) 薬物療法 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 腫瘍(肺癌、中皮腫) 2) 炎症性疾患(肺炎、気管支炎、胸膜炎) 3) 慢性閉塞性肺疾患 4) 気管支喘息 [生体防御機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 皮膚粘膜障害 2) 免疫機能障害 3) 骨髄機能障害 4) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) スキンテスト 2) 粘膜・皮膚生検 3) 骨髄穿刺 3. 治療を受ける患者への看護 1) 減感作療法 2) 免疫抑制薬 3) 抗悪性腫瘍薬 4) ステロイド療法 5) 造血幹細胞移植 6) 抗ヒト免疫不全ウイルス療法 7) 放射線療法 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) アレルギー性疾患 2) 自己免疫性疾患 3) 血液悪性疾患 4) 抗ヒト免疫不全ウイルス感染症			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.62

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:成人看護学 成人看護援助論Ⅳ 消化吸収機能・栄養代謝機能・排尿機能障害・ 性生殖機能障害の看護		2年次・前期	1単位 30H(15 コマ)	外部講師 (看護師・保健師)
学習目標	1. 各機能障害が生活に与える影響を理解する。 2. 各機能障害に行われる検査・処置・治療における看護を理解する。 3. 各機能障害の経過・症状に応じた看護を理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. 系統看護学講座 成人看護学[5] 消化器 医学書院 2. 系統看護学講座 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院 3. 系統看護学講座 成人看護学[8] 腎・泌尿器 医学書院 4. 系統看護学講座 成人看護学[9] 女性生殖器 医学書院			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	[消化吸収障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 咀嚼・嚥下障害 2) 消化管機能障害 3) 膵液分泌障害 4) 胆汁分泌障害 5) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 上部消化管内視鏡 2) 大腸内視鏡 3) 内視鏡的逆行性膵管造影 4) 消化管造影 5) 造影 CT・MRI 6) 直腸診 3. 治療を受ける患者への看護 1) 咽頭・喉頭摘出術 2) 食道切除術 3) 胃切除術 4) 大腸切除術 5) 膵切除術 6) 腹腔鏡視下手術 7) 人工肛門造設術 8) 手術後ドレナージ 9) 胆道・胆嚢ドレナージ 10) 経腸栄養法 11) 経静脈栄養法 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 口腔・咽頭腫瘍(舌癌、咽頭癌、喉頭癌) 2) 上部消化管腫瘍(食道癌・胃癌) 3) 下部消化管腫瘍(大腸癌、結腸癌) 4) 人工肛門造設後 5) 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病) 6) 潰瘍性疾患(胃・十二指腸潰瘍) 7) 胆石症 8) 膵炎 [栄養代謝障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 肝機能障害 2) 代謝機能障害 3) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 腹部超音波 2) 肺生検 3) 腹腔鏡 3. 治療を受ける患者への看護 1) 肝庇護療法 2) インターフェロン 3) 食道静脈瘤内視鏡治療 4) 肝動脈塞栓術 5) 肝切除術 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 肝炎 2) 肝硬変 3) 肝癌 4) 高尿酸血症、脂質異常症、肥満 [排尿障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 畜尿・排尿障害 2) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 尿流動態検査 2) 残尿測定 3) 膀胱鏡 3. 治療を受ける患者への看護 1) 膀胱切除術 2) 前立腺切除術 3) 尿路変向術 4) ホルモン療法			講義 演習

科目コードNo.62

	4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 腎・尿路結石 2) 腫瘍(腎癌・膀胱癌) 3) 前立腺肥大 [性生殖機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 性・生殖機能障害 2) ホルモン欠落症状 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) ヒトパピローマウイルス検査 2) 腹部超音波検査・経膈超音波検査、 3) 乳房超音波検査 4) マンモグラフィー 3. 治療を受ける患者への看護 1) 勃起障害治療 2) 性交障害治療 3) 乳がん手術 4) 女性生殖器手術 5) 男性生殖器手術(前立腺癌・精巣腫瘍・陰茎癌) 6) ホルモン療法 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫) 2) 男性生殖器疾患(前立腺炎、前立腺肥大) 3) 腫瘍(乳癌、子宮体癌・子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌) 4) 生殖機能障害(月経異常、更年期障害)	
評価方法	筆記試験 100%	
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。	

科目コードNo.63

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:成人看護学 成人看護援助論Ⅴ 脳神経機能・運動機能・感覚機能障害の看護		2年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師) 田中 陽子
講師の実務経験	田中 看護師として病院 計 7 年 8 か月			
学習目標	1. 各機能障害が生活に与える影響を理解する。 2. 各機能障害に行われる検査・処置・治療における看護を理解する。 3. 各機能障害の経過・症状に応じた看護を理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 成人看護学[7] 脳神経 医学書院 2. 系統看護学講座 成人看護学[10] 運動器 医学書院 3. 系統看護学講座 成人看護学[13] 眼 医学書院 4. 系統看護学講座 成人看護学[14] 耳鼻咽喉 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	[脳神経機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 生命維持活動調節機能障害 2) 運動・感覚機能障害 3) 言語機能障害 4) 高次機能障害 5) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 脳波検査 2) 髄液検査 3) 脳血管造影 3. 治療を受ける患者への看護 1) 開頭術 2) 穿頭術 3) 血管バイパス術 4) 血管内治療 5) 脳室ドレナージ術 6) 脳室-腹腔シャント術 7) 低体温療法 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 脳血管障害 2) 脳腫瘍 3) 感染症(脳炎、髄膜炎) 4) 頭部外傷 5) 重症筋無力症 7) ギラン・バレー症候群 8) 筋萎縮性側索硬化症 [運動機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 姿勢機能障害 2) 移動機能障害 3) 作業機能障害 4) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 関節可動域検査 2) 徒手筋力テスト 3) 脊髓造影、椎間板造影 4) 膝関節鏡 5) 筋生検 3. 治療を受ける患者への看護 1) ギプス固定 2) 牽引法 3) 人工関節置換術 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 関節リウマチ 2) 椎間板ヘルニア 3) 四肢切断 4) 変形性関節症 5) 骨折 6) 脊髓損傷 [感覚機能障害の看護] 1. 原因の障害の程度のアセスメントと看護 1) 視覚障害 2) 聴覚障害 3) 嗅覚障害 4) 味覚障害 5) 触覚障害 6) 生命・生活への影響 2. 検査・処置を受ける患者への看護 1) 眼底検査 2) 聴力検査 3) 経鼻内視鏡検査 4) 味覚検査 3. 治療を受ける患者への看護 1) 眼底光凝固法 2) 網膜剥離治療 3) 眼内レンズ挿入術 4) 鼓膜形成術 5) 小線源治療 4. 病期や機能障害に応じた看護 1) 中途視覚障害 2) 突発性難聴 3) メニエール病 4) 副鼻腔炎 5) 末梢神経障害			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.64

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:老年看護学 老年看護学概論		1年次・後期	1単位 30H(15コマ)	小野寺 江利子
講師の実務経験	看護師として病院 計 22 年 7 か月			
学習目標	1. 老年看護学の役割・特徴を理解する。 2. 老年期にある人々の身体的、心理・精神的、社会的側面の特徴を理解する。 3. 人口の高齢化の現状と問題、高齢者に関わる保健・医療・福祉政策の概要を理解する。 4. 老年期の人々が生活する中で体験する倫理的な問題について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 老年看護学 医学書院 2. 国民衛生の動向 2020-2021 厚生統計協会			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 老年期の理解 1) ライフサイクルにおける老年期の意義、定義 2) 加齢と老化 3) 生活の変化 4) 老年期の成長と発達 5) 高齢者の多様性 2. 加齢変化とアセスメント 1) 身体機能の変化と生活への影響 2) 心理・精神機能の変化と生活への影響 3) 社会的変化と生活への影響 3. 高齢者を取り巻く保健医療福祉制度 1) 超高齢社会の現状 2) 高齢者の健康状態 3) 高齢者の暮らし 4) 高齢者の生活に関連する保健医療福祉制度 4. 高齢者と家族 1) 家族の健康と生活 2) 家族への援助 5. 高齢者の権利擁護と倫理的課題 1) ノーマライゼーション、自立支援 2) 高齢者差別・高齢者虐待 3) 安全管理と身体拘束 4) 意思決定への支援 6. 老年看護の基本 1) 老年看護の役割・特徴 2) 老年看護の理論 3) エンドオブライフケア 7. 生活・療養の場における看護 1) ヘルスプロモーション 2) 施設における看護 3) 多職種連携実践活動 8. 高齢者のリスクマネジメント 1) 高齢者と医療安全 2) 高齢者と救命救急 3) 高齢者と災害			講義 高齢者インタビュー 高齢者体験
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	人生 100 年時代を迎え、老年期にある人の身体・精神的・社会面の特徴を総合的に理解し、多様な疾患や生活上の困難に向き合う力が求められています。授業では、様々な健康状態で多様な場で暮らす高齢者に対し、保険医療福祉制度や地域の支援がどのように活かせるか学びます。更に、高齢者の尊厳を大切に、倫理観を持って想いに寄り添う姿勢を学びます。これらを通して、一人ひとりの「その人らしい暮らし」を支える力を身につけていきましょう。			

科目コードNo.65

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:老年看護学 高齢者の生活支援技術		2年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師)
学習目標	1. 老年看護技術の特徴を理解する。 2. 高齢者がその人らしい生活を送るために必要な看護の方法を理解する。 3. 高齢者の日常生活援助技術を習得する			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 老年看護学 医学書院 2. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 高齢者のヘルスアセスメント 1) 生活史・環境 2) 身体的健康、心理的・社会的健康 3) 生活の自立状態 2. 高齢者の健康状態の把握と総合機能評価 1) 高齢者のフィジカルアセスメント 2) 総合機能評価<CGA> 3) 日常生活動作評価(バーサルインデックス、FIM、ADL・IADL) 4) 障害高齢者の日常生活自立度判定基準・認知症高齢者の日常生活自立度判定基準 5) 国際生活機能分類 3. 高齢者の生活を支える看護 1) 基本動作と環境のアセスメント(歩行障害、移動障害) 2) 転倒のアセスメントと看護 3) 廃用症候群のアセスメントと看護 4) コミュニケーション能力のアセスメントと看護(難聴、視力障害) 5) 日常生活援助 (1)食生活(摂食嚥下障害、タンパク質・エネルギー低栄養状態、サルコペニア、肥満) (2)排泄(排尿障害、排便障害) (3)清潔(皮膚障害、清潔セルフケア障害、更衣障害) (4)生活リズム(睡眠障害、生活リズム障害) 6) セクシュアリティのアセスメントと看護 7) 社会参加のアセスメントと看護			講義 演習 DVD
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	長い人生を歩んできた高齢者一人ひとりの想いや背景を大切に、彼に伴う心身の変化を理解しながら、その人らしい暮らしを支える看護の在り方を学びます。 高齢者の健康状態を的確に把握するためのヘルスアセスメントを基盤とし、自尊心に沿った生活支援、効果的なコミュニケーション、安全を守るために看護技術を身に付けていきましょう。			

科目コードNo.66

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:老年看護学 高齢者の健康課題・障害と治療		2年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師(医師)
学習目標	1. 高齢者医療の現状と課題を理解する。 2. 高齢者に多い症候・病態・疾患と治療について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論 医学書院 2. 系統看護学講座 老年看護学 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 高齢者医療の特性と課題 1) 地域・在宅医療 2) 急性期医療 3) 慢性期医療 4) 人生の最終段階における医療 5) 高齢者医療の目標設定 6) 老年看護への期待 2. 高齢者の生理的特徴と病態変化 1) 感覚機能の老化 2) 呼吸・循環機能の老化 3) 消化・吸収・代謝機能の老化 4) 排泄機能の老化 5) 免疫機能の老化 6) 運動機能の老化 3. 高齢者に多い症候・病態と要因 1) 老年症候群の特徴 2) 急性疾患に付随する症状 (せん妄、熱中症、脱水、発熱) 3) 慢性疾患に付随する症状 (るい瘦、低栄養、浮腫、睡眠障害) 4) ADL低下に合併する徴候 (排尿障害、便秘) 5) フレイル、サルコペニア 4. 高齢者に特有の疾患・治療の特徴 1) 認知症 2) パーキンソン病 3) 骨粗鬆症・骨折 4) 高齢者糖尿病 5) うつ状態(うつ病) 6) 高齢者肺炎 7) 高齢者結核 8) 皮膚掻痒症 9) 薬剤性腎障害 10) 尿路感染症 11) 感染症(MRSA、レジオネラ症、インフルエンザ、ノロウイルス感染症、カンジタ症)			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	超高齢社会を迎えた現在、複数の慢性疾患を抱え、加齢に伴う多臓器機能の脆弱化や生活習慣病の長期的な影響を有する高齢者が、地域や施設など多様な場で生活しています。こうした状況において、高齢者の健康を守り、治し支える医療への転換が求められています。高齢者の生理的特徴、多く見られる症状・徴候・代表的な病態とその治療の特徴・留意点について理解を深め、高齢者一人ひとりの多様性や個性を踏まえた看護実践につなげましょう。			

科目コードNo.67

[illegible]

科目コードNo.68

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:小児看護学 小児看護学概論		1年次・後期	1単位 30H(15 コマ)	後藤 郁奈子
講師の 実務経験	看護師として病院 計 11 年 1 か月			
学習目標	1. 小児期にある対象の特徴を理解する。 2. わが国の小児をとりまく社会システムを理解する。 3. 小児看護の役割、用いられる理論について理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 メディカ出版 2. 国民衛生の動向 厚生統計協会 ＜参考文献＞ 1. 筒井真由美編:小児看護学 子どもと家族の示す行動への判断とケア 日総研			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	1. 小児を取り巻く環境 1) 小児とは 2) 家族とは 3) 小児を取り巻く社会 2. 小児看護の特徴 1) 小児看護の対象と目的 2) 小児看護の場と役割 3) 小児看護の課題と展望 3. 子どもの最善の利益にかなう医療・看護 1) 看護と自己決定権尊重の原則 2) 子どもの権利条約と子どもの主体性の確立および医療と子どもの権利 (1)インフォームドアセント (2)アドボカシー(権利擁護) 3) 子ども虐待防止と看護 4. 小児を取り巻く医療の変遷 1) 小児医療の変遷 2) 小児看護の変遷 3) 小児医療・小児看護の課題 5. 母子保健の動向と小児統計 1) 母子保健 2) 小児の保健統計 6. 小児看護の場と看護の特徴 1) 小児の健康と保健・医療・福祉・教育の現状 2) 母子保健の場(子育て支援等)と看護 3) 小児医療の場と看護 4) 福祉の場と看護 5) 教育の場と看護 6) 障害のある子どもの保健と支援			講義 グループ ワーク 施設見学
評価方法	筆記試験 100%			
学生への メッセージ	自己の小児期を振りかえりながら、現代の小児の理解を様々な角度から学び小児とその家族を理解しましょう。小児看護の基盤となる概論を皆さんとともに学んでいきましょう。			

科目コードNo.69

授業科目	履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:小児看護学 小児の生活支援技術	2年次・前期	1単位 30H(15コマ)	後藤 郁奈子
講師の 実務経験	看護師として病院 計 11 年 1 か月		
学習目標	1. 小児各期の成長・発達の特徴を理解する。 2. 小児各期の発達段階に応じた日常生活を支援するために必要な看護を理解する。 3. 健康問題を持つ小児の発達段階に応じた看護を理解する。		
テキスト・ 参考文献	1. ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 メディカ出版 2. ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 メディカ出版 <参考文献> 1. 写真でわかる小児看護技術 インターメディカ		
講義内容・ 方法	講義内容		講義方法
	1. 小児各期の成長と発達 1) 成長・発達の原則と影響因子 2) 形態的成長 3) 機能的発達 4) 精神運動機能の発達 5) 心理・社会的発達 (認知、情緒、社会性、コミュニケーション能力、遊びと学習、発達課題) 6) 性と発達 7) 発育・発達評価と環境アセスメント (ヘルスアセスメント、身体発育の評価、精神運動機能の評価、療育環境) 2. 小児各期の発達段階に応じた世話と健康増進のための看護 1) 健康な生活:食事、睡眠、清潔、排泄、活動 2) 健康問題 3) 発達に応じた健康増進と安全な環境 (1)新生児の成長・発達と看護 (授乳と栄養、感染予防、事故防止親子関係、母子保健サービスの活用を含む) (2)乳児の成長・発達と看護 (離乳と栄養、運動と遊び、予防接種、感染予防、アタッチメント、分離不安、事故防止と安全対策を含む) (3)幼児の成長・発達と看護 (基本的生活習慣の確立、自我の発達と遊び、家族関係と社会化、食育) (4)学童の成長・発達と看護 (学校保健、予防接種法、セルフケアと保健教育、学校への適応、学習と遊び、生活習慣病の予防、第二性徴、学童の情緒と仲間や家族との関係、学童をとりまく社会環境、学童の問題行動と対応を含む) (5)思春期の成長・発達と看護(親からの自立、異性への関心、情緒的变化と家族、小児の性意識の変化と逸脱行動、小児の問題行動と対応) 3. 小児の日常生活の援助技術(演習) 1) 食事(授乳、調乳、離乳食) 2) 排泄(オムツ交換) 3) 身体計測(身長・体重・頭囲・胸囲) 4) 小児のバイタルサイン測定		講義 演習
評価方法	筆記試験 100%		
学生への メッセージ	小児の成長発達と小児に必要な生活援助の方法、看護技術を学ぶ授業です。体験、演習など取り入れながら講義をしますので、提示された課題はしっかり行い準備しましょう。		

科目コードNo.70

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:小児看護学 小児の健康課題・障害と治療		2年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師 (医師経歴あり)
学習目標	1. 小児に特有な疾患・障害の特徴・治療について理解する。			
テキスト・参考文献	1. ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護(メディカ出版)			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 遺伝子・染色体の異常と形態異常 2. 新生児の特徴と疾患 3. 消化器疾患 4. 呼吸器疾患 5. 循環器疾患 6. アレルギー性疾患 7. 血液疾患・小児がん 8. 神経・筋疾患 9. 内分泌・代謝疾患 10. 腎尿路疾患 11. 骨・関節疾患(二分脊椎、先天性股関節脱臼、ペルテス病) 12. 感染症 13. 免疫疾患・膠原病 14. 皮膚疾患 15. 腫瘍疾患(神経芽腫、ウィルムス腫瘍、脳腫瘍)			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.71

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:小児看護学 小児看護の実践		2年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師)
学習目標	1. 健康課題・障害および入院が、小児と家族に及ぼす影響と看護について理解する。 2. 健康課題・障害および治療過程における看護について理解する。 3. 小児にみられる主な症状と看護について理解する。 4. 基本となる小児看護技術を習得する。 5. 小児期にある対象を総合的にアセスメントし、対象に必要な看護計画が立案できる。			
テキスト・参考文献	1. ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 メディカ出版 2. ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 メディカ出版 <参考文献> 1. ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護 メディカ出版			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 健康課題・障害および入院が小児と家族に及ぼす影響と看護 1) 健康課題・障害および入院による小児への影響 2) 健康課題・障害をもつ小児への支援 3) 小児の健康課題・障害および入院による家族への影響と支援 2. 健康課題・障害および治療過程における小児とその家族への看護 1) 急性期 2) 慢性期 3) 終末期 4) 治療処置・検査を受ける小児 5) 手術を受ける小児 6) 外来における小児 7) 在宅における小児 8) 災害を受けた小児 9) 救急処置を受ける小児 10) 先天来的な健康課題・障害をもつ小児 11) 活動制限が必要な小児 12) 感染対策上隔離が必要な小児 3. 小児にみられる主な症状のアセスメントと看護 1) 発熱 2) 脱水 3) 痙攣 4) 呼吸困難 5) 痛み 4. 基本となる小児看護技術(演習) 1) 診察及び治療処置に伴う技術 (採血、点滴、吸引、酸素療法、経管栄養、与薬) 5. 事例による看護過程の展開 1) 情報収集と整理 2) アセスメントのポイント 3) 看護過程の展開(演習)			講義
				演習
				演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.72

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:母性看護学 母性看護学概論		1年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師
学習目標	1. 母性看護学の概要をふまえ、母性の特徴を理解する。 2. わが国の母性をとりまく社会環境を理解する。 3. 女性のライフサイクルに応じた看護の目標と役割について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 母性看護学①母性看護学概論 ウィメンズヘルスと看護 メディカルフレンド社 2. 国民衛生の動向 厚生統計協会			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 母性看護学の概念 1) 母性・父性、母性看護の概念 2) リプロダクティブ・ヘルツ／ライツ 3) 家族の発達・機能 2. 母子の健康生活と法律・制度 1) 母子保健の統計指標 2) 女性のリプロダクティブ・ヘルツに関わる社会的要因 3) 母子保健法 4) 子育て支援施策 5) 母子保健の関係法規 6) 女性の就労の関係法規 7) 外国人妊産婦と家族の支援 8) 災害時の妊産婦と家族の支援 3. 母性看護と倫理 1) 対象の権利と擁護 2) 自己決定の尊重 3) プライバシーの保護 4) 人間の性と生殖や医療における倫理 5) 出生前診断 4. 性の概念 1) 性的健康の概念 2) セクシャリティー 3) ヒトの発生・性的分化のメカニズム 5. 性と生殖のメカニズム 1) 性周期 2) 性行動・性反応 3) 受胎のメカニズム 6. 思春期女性の健康課題に対する看護 1) 第二性徴 2) 性意識・性行動の発達 3) 月経異常 4) 性感染症(STD) 7. 成熟期女性の健康課題に対する看護 1) 家族計画 2) 不妊症・不育症 3) 女性生殖器の疾患 4) 性暴力、DV(ドメスティック・バイオレンス) 8. 更年期女性の健康課題に対する看護 1) ホルモンの変化と閉経 2) 更年期障害 9. 老年期女性の健康課題に対する看護 1) 骨盤臓器脱 2) 萎縮性膣炎、外陰炎 3) 尿失禁			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.73

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:母性看護学 女性の健康課題・障害と治療		2年次・前期	1単位 15H(7コマ)	外部講師(医師)
学習目標	1. 妊娠期・分娩期・産褥期における身体的特徴および健康課題・障害について理解する。 2. 新生児期における身体的特徴および健康課題・障害について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 妊娠期の身体的特徴 2. 妊娠期の健康課題・障害 1) 流産、早産 2) 感染症 3) 常位胎盤早期剥離 4) 前置胎盤 5) 妊娠高血圧症候群 6) 妊娠糖尿病 3. 分娩期の身体的特徴 4. 分娩期の健康課題・障害 1) 前期破水 2) 帝王切開術 3) 産科出血 4) 胎盤機能不全 5. 産褥期の身体的特徴 6. 産褥期の健康課題・障害 1) 肺塞栓 2) 子宮復古不全 3) 産褥熱 4) 乳腺炎 5) 産後うつ 6) 帝王切開術後 7) 死産、流産 7. 新生児期の身体的特徴 8. 新生児期の健康課題・障害 1) 新生児の健康逸脱 2) 早産児、低出生体重児 3) 先天異常、障害を持つ新生児			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.74

	授業科目	履修年次・学期	単位・時間	講師名
	専門分野：母性看護学 周産期看護の実践Ⅰ 妊娠・分娩期の看護	2年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(助産師)
学習目標	1. 妊娠期・分娩期における特徴および健康課題・障害をふまえ、母子、夫、家族に対して必要な看護を理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 妊娠期における特徴の理解と看護 1) 妊娠の受容と看護 2) 妊婦の健康診査 3) 妊婦への看護 保健指導：妊婦・胎児の環境、日常生活の過ごし方、乳房の手入れ、栄養、出産準備、異常の早期発見 4) 分娩の計画と準備			講義
	2. 妊娠期における健康課題・障害と看護 1) ハイリスク妊婦・胎児への看護 2) 健康課題・障害のみられる妊婦・胎児の看護 妊娠悪阻・妊娠高血圧症候群・子癇・切迫流産・子宮外妊娠・多胎妊婦・胞状奇胎・羊水過多症・胎児の発育異常・過期妊娠・合併症を持つ妊婦の看護			
	3. 分娩期における特徴の理解と看護 1) 産婦への看護 2) 周産期の母子相互作用			
	4. 分娩期における健康課題・障害と看護 1) 健康課題・障害のみられる産婦の看護 陣痛の異常・骨盤位分娩・吸引分娩および鉗子分娩・会陰切開・手術による分娩・障害のある児の出産、流産・死産時の看護			
	5. 妊娠・分娩期における夫・家族への支援 6. 妊娠期における保健指導(演習)			演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.75

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:母性看護学 周産期看護の実践Ⅱ 産褥期・新生児期の看護		2年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師 (助産師経歴あり)
学習目標	1. 産褥期における特徴および健康課題・障害をふまえ、母子、夫、家族に対して必要な看護を理解する。 2. 新生児期における特徴および健康課題・障害をふまえ、母子、夫、家族に対して必要な看護を理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社 <参考文献> 1. ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児の疾患と看護 メディカ出版			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 褥婦への看護と保健指導 1) 褥婦に対する看護ケアを考える上で必要な基礎知識 2) 褥婦の状態のアセスメント 3) 褥婦に対する看護ケア 保健指導:進行性変化・退行性変化の促進、痛みや不快感の緩和、安全安楽の促進、親役割の獲得、母児関係の促進、セルフケア能力の促進 2. 健康課題・障害のみられる褥婦の看護 1) 感染症のある褥婦 2) 子宮復古不全 3) 乳房の異常 4) 産後うつ 5) 帝王切開術後 6) 死産、障害をもつ新生児を出産した親 3. 新生児の看護 1) 出生直後から生後 24 時間以内の看護 2) 生後 24 時間以降の看護 3) 新生児の生理 4) 新生児の栄養 4. 健康課題・障害のみられる新生児の看護 1) 新生児の健康逸脱(高ビリルビン血症、感染症、MAS) 2) 早産児、低出生体重児出生時の看護(新生児仮死、RDS、TTN) 3) 先天異常、障害を持つ新生児の看護 5. 産褥期・新生児期における夫・家族への支援 6. 看護の実際(演習) 1) 沐浴、オムツ交換、抱っこの仕方 2) 事例展開:正常褥婦の看護			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.76

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:精神看護学 精神看護学概論		2年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師)
学習目標	1. 精神看護の目標と役割について理解する。 2. 人間の心の仕組みや働きについて理解する。 3. 精神医療の歴史および精神保健福祉制度について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 精神看護学の考え方 1) 精神疾患および精神障害の現状 2) 心の健康・不健康、心の病気の考え方(ストレス脆弱説) 3) 精神看護学における看護師の役割 2. 精神の捉え方 1) 脳の構造と機能 2) 精神(心)の発達(自我の構造・防衛機制) 3) 心の発達における危機 (胎児期、乳児期、幼児期、学童期、青年期、壮年期、老年期) 3. 社会環境の変化と社会病理および対策 (いじめ・自殺・暴力・PTSD 等) 4. 危機状況とストレスコーピング 1) 危機の状況と危機介入 2) ストレスとコーピング 5. 災害時の精神保健医療福祉活動 1) 災害者の心理 2) 被災者の心理 3) 災害時の初期対応 4) 活動の継続 6. 精神医療の歴史とわが国の精神保健福祉制度 1) 精神医療の歴史 2) 精神保健福祉制度の変遷 3) 精神保健福祉活動			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.77

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:精神看護学 心の健康課題・障害と治療		2年次・後期	1単位 15H(7コマ)	外部講師(医師)
学習目標	1. 心の健康課題・障害と治療について理解する。			
テキスト・参考文献	1. 新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 精神に障害を持つ人が抱える症状 1) 精神症状 2) 中枢神経症状 2. 精神障害の診断と検査の種類 1) 診断の基礎と要点 2) 検査の種類 3. 主な精神障害の診療 1) 各種治療法 (1)薬物療法 (2)電気痙攣療法 (3)社会復帰療法 (4)精神療法 2) 主な疾患の診療 (1) 症状性を含む器質性精神障害 (2) 精神作用物質使用による精神・行動の障害 (3) 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害 (4) 気分＜感情＞障害 (5) 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 (6) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (7) パーソナリティ障害 (8) 習慣および衝動の障害 (9) 性同一性障害 (10)知的障害＜精神遅滞＞ (11)心理的発達障害 (12)小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.78

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:精神看護学 精神看護の基本技術		2年次・後期	1単位 15H(7コマ)	田中 陽子
講師の 実務経験	看護師として病院 計 7 年 8 か月			
学習目標	1. 入院している精神に障害を持つ人への看護援助展開に必要な基礎知識について理解する。 2. 精神に障害を持つ人やその家族を理解する為に必要な考え方や接触の方法を理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. 新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	1. 精神に障害をもつ人の理解と援助の基本 1) 精神障害者の理解と考え方 2) 患者の権利擁護と法制度 3) 精神科における医療安全と治療的環境 4) 患者－看護師関係の理解、接触の技術 (コミュニケーションの方法・転移・逆転移) 5) 自己理解(プロセスレコードの活用) 6) 医療者のメンタルヘルス (看護における感情労働・自殺や暴力など緊急事態への対処) 7) リエゾン看護の役割 2. 入院治療における看護援助 1) 対象の観察とアセスメント 2) 患者のセルフケア能力をアセスメントする視点(オレムの看護理論) 3) 患者を主体とした看護(リカバリー・ストレングス・エンパワースメント) 4) 患者家族の特徴と看護 3. 看護過程の展開 症例・統合失調症			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生への メッセージ	テキストと配付資料を熟読する。 学習内容に聞きなれない用語が多いため、曖昧な理解にならないよう、予習・復習を行い、各自用語集を作成するなどの工夫をして取り組みましょう。			

科目コードNo.79

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:精神看護学 精神看護の実践		2年次・後期	1単位・ 30H(15コマ)	種市 和人
講師の 実務経験	看護師として病院 計 4 年 10 か月			
学習目標	1. 主な症状に対する看護について理解する。 2. 主な治療に伴う看護について理解する。 3. 精神に障害をもつ人の各疾患および各回復過程の看護について理解する。 4. 精神科リハビリテーションについて理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. 新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	1. 主な症状に対する看護 1) 精神症状と看護 2) 神経症状と看護 3) 認知症の状態にある患者の看護 2. 主な治療に伴う看護 1) 薬物療法に伴う看護(有害反応と服薬おの援助) 2) 電気痙攣療法を受ける患者の看護 3) 精神療法を受ける患者の看護 4) 社会療法を受ける患者への看護 3. 精神に障害を持つ人の看護 1) 統合失調症患者の看護(急性期・回復期・慢性期) 2) 双極性障害患者の看護 3) 心因性精神病と神経症患者の看護 4) 人格障害の看護 5) アルコール・薬物依存患者の看護(急性期・リハビリテーション期) 6) てんかん患者の看護 7) 自閉症スペクトラム症患者の看護 8) 神経性食欲不振症患者の看護 4. 精神に障害を持つ人の地域包括ケアマネジメント 1) 精神保健医療福祉におけるチーム 2) 地域資源の活用と看護師の役割(退院前訪問看護)			講義
評価方法	筆記試験 100%			
学生への メッセージ	テキストと配付資料を熟読する。既習したことを復習してから授業に臨む。			

科目コードNo.80

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:看護の統合と実践 看護管理と医療安全		3年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師) 小野寺 江利子
講師の 実務経験	小野寺 看護師として病院 計 22 年 7 か月			
学習目標	1. 医療現場における組織体制及び組織における看護師の役割を理解する。 2. 看護管理における業務の管理、人材育成の考え方を理解する。 3. 医療事故の構造を理解し、安全な医療を提供するための知識と方法を理解する。 4. 発生しやすい事故と安全管理について理解する。			
テキスト・ 参考文献	1. 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント・医療安全 メジカルフレンド社			
講義内容・ 方法	講義内容			講義方法
	[看護管理] 1. 看護管理の概念 1) 看護管理の定義 2) 看護管理の目的と方法 3) 看護管理システム 2. 病院における看護組織と責務 1) 病院の組織 2) 看護部門の組織と看護職員の管理 3) 医療・看護サービスの評価 4) 院内委員会と看護の役割 5) 看護におけるチームワーク 6) 組織における感染予防 7) 情報管理 3. 多職種連携と看護の役割 1) チーム医療の実際 2) 多職種連携 3) クリニカルパスの役割 4) 多職種カンファレンス 5) 地域連携パス 6) 地域包括ケアシステム 4. 業務管理 1) 物品、薬品管理 2) 時間管理 3) 多重課題 5. 人材育成・活用 1) 看護制度の変遷 2) 継続教育 3) 認定看護師・専門看護師・特定行為研修制度 4) 看護師等の確保、就業継続、看護師等の届出制度 5) 看護職員の労働安全衛生 6. 看護制度、看護行政 1) 看護制度の変遷 2) 看護行政の組織 [医療安全] 1. 医療安全を学ぶ重要性 2. 事故防止の考え方 1) 医療事故と看護業務 2) 看護事故の構造 3) 看護事故防止の考え方 3. 診療の補助業務に伴う事故防止 4. 療養上の世話における事故防止 5. 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 1) 業務領域をこえて共通する患者間違い 2) 情報の管理 3) 間違いを誘発するタイムプレッシャーと途中中断 4) 新人特有の危険な思い込みと行動パターン 6. 安全管理(セーフティマネジメント) 1) 誤薬の起こりやすい状況と対策 2) 転倒・転落の起こりやすい状況と対策			講義 演習

科目コードNo.80

	3) チューブ・ライントラブルの起こりやすい状況と対策 4) 針刺し事故の起こりやすい状況と対策 5) KYTトレーニング(演習) 7. 医療事故の分析(演習) 8. 看護師と法的責任 1) 医療事故の法的責任 2) 医療事故と看護師の法的責任 9. 組織的な安全管理体制整備 1) 組織としての医療安全対策 2) 国の医療安全対策	
評価方法	筆記試験 100%	
学生へのメッセージ	組織・看護制度や行政の取り組みを知ることにより広い視野を持ち、看護職各自の業務上の管理の必要性を理解できるよう学びます。 安全・安心の医療を提供するため国と組織における医療安全に関する管理体制と実際を理解し、業務上の事故防止を学びます。 暮らしと尊厳を支える専門職として、安全で専門性の高い看護が提供できるよう、学んでいきましょう。	

科目コードNo.81

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:看護の統合と実践 災害看護		3年次・後期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師)
学習目標	1. 危機的状況にある患者・家族への対応を考えることができる。 2. 災害医療・災害看護の概念を理解する。 3. 災害時の看護師の役割を理解し、災害各期における看護活動の方法を理解する。 4. 災害時の応急処置の実際を理解する。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践(3)災害看護学・国際看護学 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 災害医療・災害看護の概念 1) 災害の歴史と災害医療 2) 災害時の支援体制と医療体制 3) 災害と法制度 4) 災害看護の定義と役割 5) 災害の種類別の被害の特徴 6) 災害種類別の疾患の特徴 クラッシュ症候群・肺塞栓症・感染症・気道熱傷・生活不活発病・食中毒 7) 被災者および援助者の心理(心理回復プロセス・PTSR/PTSD) 2. 災害時の体系的なアプローチ(CSCATTT) 3. 災害各期の特徴と看護活動 1) (超)急性期 2) 慢性期 3) 復興期 4) 静穏期 4. 対象別の災害看護 1) 小児・妊産婦・高齢者・身体障害者・精神障害者・在留外国人 2) 地域・集団 5. 災害時の応急処置の実際(演習) 1) 災害時に必要な技術 (1)トリアージの実際 (2)搬送 (3)応急処置 (4)CPR(心肺蘇生法)とAED (5)創傷処置 2) 心のケア 6. 平時からの備え 1) 防災訓練 2) 防災教育 3) 災害総合訓練			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	想定される災害時の状況や対象の特徴を理解し、看護職として活動できるよう、災害各期の看護活動についての知識・技術の習得を目指します。既習の救急看護の復習に加え、対象テキストの予習・復習をして臨みましょう。			

科目コードNo.82

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:看護の統合と実践 国際看護		3年次・後期	1単位 15H(7コマ)	外部講師 (看護師経歴あり)
学習目標	1. 国際看護の主要概念を学び、諸外国の保健医療の現状と人々の健康について理解する。 2. 看護の国際協力の実際と課題を、事例を通して学び、異文化看護の視点から人々の生活へのより深い理解に立ち、看護の役割について考える。			
テキスト・参考文献	1. 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践(3)災害看護・国際看護 医学書院			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. 看護のグローバル化 2. 世界の主要な健康問題と格差 3. 国際看護の定義と看護の対象 4. グローバルヘルス 1) インターナショナルヘルスからグローバルヘルスへ 2) プライマリヘルスケア(PHC)とヘルスプロモーション(HP) 3) 人間の安全保障 4) ミレニアム開発目標(MDGs) 5) 持続可能な開発目標(SDGs) 6) ユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC) 5. 国際協力のしくみと国際社会の共通課題 6. 国際協力活動と看護 1) 国際機関の役割 2) 政府開発援助(ODA)の開発途上国への援助 3) 看護の役割 7. 開発途上国の健康問題の構造と看護 8. 多様な文化を考慮した看護 1) 文化を考慮した看護理論 2) 看護の実践 9. 海外の看護制度 10.事例で考える国際看護の展開(GW)			講義 演習
評価方法	筆記試験 100%			
学生へのメッセージ	諸外国の保健・医療・福祉の現状と課題、国際協力の実際を知り、看護における国際協力の役割と重要性を認識することを目指します。世界情勢や国際機関など、普段触れない言葉が多い科目です。テキストの対象ページを予習・復習して理解を深めましょう。			

科目コードNo.83

授業科目		履修年次・学期	単位・時間	講師名
専門分野:看護の統合と実践 臨床判断実践		3年次・前期	1単位 30H(15コマ)	外部講師(看護師) 加藤 聡子 田中 陽子
講師の実務経験	加藤 看護師として病院 計 16 年 4 か月 田中 看護師として病院 計 7 年 8 か月			
学習目標	1. 専門知識を用いて病態を中心とした事例に対する臨床判断プロセスを展開し、看護実践の思考と技術を習得する。 2. 多重課題の場面における臨床判断プロセスを展開し、優先順位の判断の仕方、他者との協働の在り方を理解する。 3. 看護師の臨床判断とリフレクションにより、自己の学習課題を明確にする。			
テキスト・参考文献	<参考文献> 1. 新体系看護学全書 看護の統合と実践①看護実践マネジメント/医療安全 メヂカルフレンド 2. 臨床判断ティーチングメソッド 3. アセスメントに自身がつく臨床推論入門			
講義内容・方法	講義内容			講義方法
	1. タナーの臨床判断モデルと実践論 2. 基本的な臨床判断実践－必要な情報に気づく、考える 事例:大腸がん術後 1 日目 3. 基本的な臨床判断実践－実際の情報収集 4. 病態アセスメント、予測される看護上の問題の明確化 5. アセスメント・看護上の問題点の共有と意見交換 6. 基本的な臨床判断実践－予測される事態への対応 7. 基本的な臨床判断実践－臨床判断・対応の振り返り 8. 基本的な臨床判断実践－臨床判断の共有と意見交換 9. 複数患者の臨床判断実践－2事例のアセスメント 病態、優先順位、タイムマネジメント、他者との協働 10. 複数患者の臨床判断実践－2事例の看護の実践 11. 複数患者に対する実践の臨床判断の共有と意見交換 12. 予期せぬ事態への臨床判断実践－観察・アセスメント・報告・対応 13. 予期せぬ事態への臨床判断実践－実践・共有と意見交換 14. 看護師の臨床判断 患者の捉え方の思考プロセス、優先順位の判断理由、実践 15. 実技試験(OSCE) 観察～判断～実践～報告～実践			講義 GW・演習 個人ワーク GW 全体発表 演習 個人ワーク GW 全体発表 個人ワーク GW 演習、GW 全体発表会 演習、GW 全体発表会 講義
評価方法	実技試験 50% 筆記試験 50%			
学生へのメッセージ	根拠に基づいた迅速な判断と実践能力の習得を目指し、複数の事例演習を通して学びます。より適切な看護実践ができるよう、病態と看護に関する既習の知識を基に思考を展開します。テキストや配付資料を熟読し、事例に関連する知識を復習してから授業に臨んで下さい。			